

暮らしと経営をさらに圧迫する消費税率引き上げに反対します！

# “消費税” ネットニュース

第 72 号 2019.04.17  
発行 消費税率引き上げをやめさせるネットワーク宮城  
事務局 宮城県生協連  
TEL : 022-276-5162  
FAX : 022-276-5160  
E-mail:sn.m31660hk@todock.coop

## ●3月30日(土)、宮城県内で消費税増税に反対している3団体(消費税率引き上げをやめさせるネットワーク宮城(以下、消費税ネット)・消費税をなくす宮城の会・消費税廃止宮城県各界連絡会)が、『消費税、いま上げるべきではない』を呼びかける共同街頭行動を行ないました。

消費税は、1989年4月に税率3%で導入されました。財政再建という理由では国民の理解が得にくいので「高齢化社会」のためと宣伝し、消費税の目的は「社会保障と財政再建」であることを位置づけ、それ以降二大看板となって今日に至り30年が経過しました。その間、1997年に5%、2014年に8%と増税されてきました。

しかし、社会保険費用・医療費の自己負担の割合は増えるばかりで、賃金が上がりず手取り収入が増えないなか、社会保障の給付は後退しています。実質賃金の落ち込み、物価の上昇で家計消費は低迷し、年金も実質削られ、深刻な消費不況が続いています。

このまま税率引き上げが実施されれば、地域経済をさらに疲弊させ、中小企業や小規模事業者の営業を脅かし、雇用不安を招くなど国民生活への影響が懸念されます。

消費者・事業者の実情を踏まえ、10月からの消費税率10%の引き上げを何としても阻止しなければなりません。そこで、消費税ネットは、上記県内3団体共同による「消費税率10%への引き上げ中止」を求める国会請願の署名活動を広く県民に訴えるため、仙台市内街頭にて行いました。

3月末とは思えない、小雪の舞う真冬のような寒さの中、3団体から40人が参加しました。仙台市青葉区広瀬通一番丁交差点付近において、13:00~14:00までの1時間、各団体ののぼり旗を掲げ、各構成団体の代表者によるリレーアピール、「10月からの消費税率10%中

止を求める」国会請願の署名活動、「消費税率10%への引き上げ中止を求める国会請願署名へご協力をお願い」というチラシ入りティッシュの配布などを行い多くの方に呼びかけました。署名数は132筆寄せていただきました。



「消費税、いま上げるべきではない」のアピールを行う、みやぎ生協の地域代表理事(上から)松木弥恵さん、田中祥江さん、佐々木英美さん



署名活動の様子